みんなで がんばろう日本

2016 年度 年次報告書 [2016 年 6 月～ 2017 年 5 月]

GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE RECOVERY INITIATIVES FOUNDATION

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

ごあいさつ

代表理事
立石 勝義

東日本大震災から6度目の春を迎えました。そして同じ時期、震災後長らく居住が制限されていた福島県の沿岸市区町村では、多くの地区で避難指示が解除されることとなりました。これからの生活について思い悩まれる方が多くいらっしゃることは容易に想像できます。また、現地の支援団体の方から、震災当時の精神的不安を未だ抱えているお子さんも多く、心のケアが継続的に求められていると伺いました。一方で、各県で高台整備および移転が進んでおり、数年以内には、多くの方が安定した住居に住めるようになると言われており、目に見える変化が多く起こっています。

未だ変化を続ける東北ですが、未来の東北を担う人材を育成すべく、今後も、お子さんの健やかな成長や地域のリーダーとしての成長を後押しする事業を継続してまいります。また、人材の育成だけでなく、未だ震災の影響により経済的に困難な状況にある若者への支援も継続してまいります。多くの皆さまからお寄せいただいているご厚意を無駄にすることなく、東北のお子さんたちへ届けていく所存です。

今後とも、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

設立～2017年5月末まで

支援額合計 36.27億円

支援者数合計 約78,000人と413の団体

※2017年５月末までに終了した支援活動の支援額・支援者数を含む。
※詳しい支援活動の内容は、中面をご覧ください。

当財団の理念
復興支援を通じて、
次の世代が幸せに暮らす
社会の創生に貢献する。

目指すビジョン
子どもたちが夢と
希望を育む
環境を実現する。

2016年度 トピックス

東北事務所を開設いたしました

2017年４月、当財団では宮城県仙台市に東北事務所を開設いたしました。震災直後からこれまで、東京事務所の職員が東北を訪れ、現地の皆さまのご意見を伺いながら支援活動を行ってまいりましたが、震災から６年が経過する中、よりきめ細かく東北の各地域のニーズを把握するために、東北事務所を開設しました。東北事務所には、職員３名が駐在し、岩手・宮城・福島の各地域を訪問いたします。より近い距離から訪問することで、関連団体や支援を受けられている皆さまとのコミュニケーションを深め、現地で必要とされていることを迅速にお伺いできるようになります。
東北事務所の職員３名を紹介いたします。職員一同、東北の復興を後押しするため、今後も尽力してまいります。

被災地に近い利点を生かし可能な限り足を運びたいと思います。東北の皆さまの声を東京事務所に届けてまいります。

鈴木 利昭
（すずき　としあき）

地域の若者たちと一緒に復興の活動を行っていきます。１人でも多く復興の担い手が育つよう、全力でサポートします。

高際　均
（たかぎわ　ひとし）

復興への道のりはまだまだ長いと感じております。
微力ですが、人材育成に取組み地域課題を解決してまいります。

三和 真吾
（みわ　しんご）

2016年度活動報告会を実施しました

これまで当財団にご支援をいただいた皆さまへ、日頃のご支援のお礼を直接お伝えするとともに、東北や当財団の活動の状況をご報告するため、2017年３月に活動報告会を実施いたしました。当日は、奨学金を受給し、この春高校を無事卒業した学生による震災の体験や学校生活についての発表、助成先のNPO団体から、震災から６年経過した中であらためて見えてきた子どもたちの状況について発表をいただきました。また、寄付者さまからもご寄付への取り組みや思いについて、紹介いただきました。
報告会後は、ご参加いただいた皆さま、ご登壇いただいた皆さまと、懇親会を開催いたしました。懇親会では、宮城県石巻市から来た高校生たちが地元の産品を販売するコーナーも設けられ、数々の東北の銘品を紹介させていただきました。寄付者の皆さまをはじめ、多くの支援者の皆さまにお越しいただき、お礼や活動状況をお伝えすることができただけでなく、さまざまなご意見や励ましのお言葉をいただきました。本当にありがとうございました。

活動のあゆみ

【設立～2017年５月末まで】

- 2011年3月 東日本大震災発生
- 2011年6月 一般財団法人 東日本大震災復興支援財団 設立
- 2011年7月 公益財団法人認定
- 2011年8月 子どもサポート基金公募開始
- 2011年8月 一時転居支援助成公募開始
- 2011年8月 18歳まで携帯料金サポート公募開始
- 2011年11月 まなべる基金公募開始
- 2011年12月 ふみだすふくしま 開始
- 2012年3月 2011年度活動報告会開催
- 2012年4月 ふみだす未来の教室 in 南相馬　オープン
- 2012年10月 福島県伊達市の幼稚園への砂場や人工芝の支援
- 2012年10月 まなべる基金 緊急支援奨学金公募
- 2013年4月 みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業開始
- 2014年6月 福島こども力プロジェクト開始
- 2014年8月 宮城県知事より感謝状を拝受
- 2014年10月 福島こども力プロジェクト グッドデザイン賞を受賞
- 2014年11月 2014年度活動報告会開催
- 2015年5月 ユースアクション東北開始
- 2015年7月 みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業キッズデザイン賞を受賞
- 2016年3月 2015年度活動報告会開催
- 2016年4月 東北「夢」応援プログラム開始
- 2017年3月 2016年度活動報告会開催
- 2017年4月 東北事務所開設

これまでの支援活動の概要と実績 【設立～2017年5月末まで】

学べるしあわせをみんなに。
高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」

学べるしあわせをみんなに

まなべる基金

東日本大震災の影響により家庭の経済状況が変化し、就学や進学が困難となった高校生のための、返還不要の奨学金制度です。高校入学から卒業までの間、最大48万円を給付しています。高校生向けの給付型奨学金制度が少ない中、進学・就学が困難な状況においても学ぶことをあきらめない高校生を応援し続けています。

支援総額 15.21億円　支援者数 2,739人

※2017年5月時点。支援総額には今後の支給予定分も含む。

連携団体◎NPO法人ジービーパートナーズ

2016年募集分	支援総額 3,892万円 支援者数 91人

支援のお礼メッセージ　まなべる基金

私が充実した高校生活を送ることができたのは寄付者の皆さまのおかげだと思っていて、本当に感謝しています。私が支えていただいたように、まなべる基金の寄付者の皆さまによって、たくさんの東北の高校生が支えられていると思います。これからもまなべる基金は続いていってほしいです。そして、私が寄付者の皆さまに支えていただいたように私自身もこの先誰かを支えながら生きていきたいです。

（宮城県気仙沼市／2017年3月卒）

支援活動団体向け助成
子どもサポート基金

子どもたちの成長を支える団体の活動をバックアップ

子どもサポート基金

東北の子どもたちの支援活動に取り組むNPOやボランティア団体への助成を行っています。団体が継続して活動できるよう、複数年にわたる助成を行うとともに、組織の基盤強化をサポートし、子どもたちが心身の健康を回復・維持し、希望を持ってたくましく成長できるような環境づくりを推進しています。

支援総額 7.72億円　支援件数 335団体

※助成決定時点の支援総額。
※2016年度は前年度に助成した団体へ継続支援を実施。

助成団体のメッセージ　子どもサポート基金

宮城県石巻市で、震災で心に傷を負った子どもたちの心のケアを行っています。6年が経過した現在、子どもたちは成長する過程であらためて震災の出来事や家族の死と向き合っています。抱えきれない不安や悲しみが、不登校や自傷行為として出現しており、活動を継続することの重要性をあらためて感じています。傷ついた子どもたちを支えられるのは、皆さまのご寄付のおかげです。本当にありがとうございます。子どもたちが一日も早く笑顔を取り戻せるよう、今後も寄り添ってまいります。

（一般社団法人こころスマイルプロジェクト）

スポーツを通じて夢を応援

みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業

宮城県の復興を支える人材を育成するため、スポーツを通じて、心身ともにたくましく成長する環境を提供します。最先端のトレーニングを体験し、さまざまな競技に挑戦することでトップアスリートを目指す子どもたちの夢を応援しています。

支援総額 3.5億円　支援者数 464人

※2018年3月までの支援予定額、支援予定者も含む。

主催
◎みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業実行委員会

主な構成団体
◎宮城県教育委員会
◎公益財団法人宮城県体育協会
◎仙台大学

2016年募集分	支援総額 0.58億円 支援者数 90人 「みやぎジュニアトップアスリートアカデミー」参加者

地域と向き合う若者の活動を支援し、東北に活気と変化を創造する

ユースアクション東北

地元の復興や活性化に取り組む高校生や大学生の活動を支援します。活動費用の助成のほか、活動の実現に向け助言や協力をしてくれる「伴走者」を紹介することで、思いを形にできる人材への成長を後押しする取り組みです。東北に更なる活気が生まれていくことを目指し、各地域の伴走者がお互いの経験や知見を共有する機会も設けています。

支援総額 330万円　支援件数 21件

※2017年7月時点。

連携団体
◎認定NPO法人カタリバ
◎認定NPO法人底上げ
◎一般社団法人
Bridge for Fukushima

2016年募集分	支援総額 159万円 支援件数 10件

助成団体のメッセージ　ユースアクション東北

地元で起きている問題は当事者である私たちが率先して解決しなければいけないと思いイベントに出店しましたが、助成金なしでは私たちの活動を成功させることはできませんでした。本当にありがとうございました。また、準備も全て自分たちだけで成し遂げられたのではなく、周りの皆さまのおかげだということを学びました。今後の活動も、支えてくださる皆さまへの感謝の心を忘れずに頑張りたいと思います。次回はこの体験の反省点を踏まえ、より良いものにしたいです!

（女川ほやーず）

東北"夢"応援プログラム

自ら行動する力を育み、未来の東北を担う人材を目指す

東北「夢」応援プログラム

東北の学生へ、スポーツなどの専門的な指導機会を提供し、夢や目標の実現を応援します。子どもたちは情報通信ツールを通じて、日本各地にいるプロコーチやチームから動画指導を受け、自ら掲げた夢や目標の達成に向けて計画的に練習に励みます。子どもたちの主体的に行動する力を育むことで、将来の東北を担う人材の育成を目指します。

支援総額 3,900万円　支援件数 18件

※2017年5月までの支援決定額。

協力団体
◎ソフトバンク株式会社
（遠隔指導で活用する情報端末のプロコーチなどへの貸し出し）

2016年募集分	支援総額 3,180万円 支援者数 15件

支援のお礼メッセージ　東北「夢」応援プログラム

今回、私たちに素晴らしい機会、時間を用意してくださったことに心から感謝します。このプログラムでチームの仲がより深まったと思います。この体験、経験を無駄にしないように、チーム一丸となって頑張っていきたいと思います。

（石巻工業高等学校ラグビー部）

NEW

福島こども未来塾

福島県の未来を担う人材の育成を目指し、自然体験や、郷土文化の学習、国際交流など、1年をかけて総合的な体験活動を提供しています。仲間と一緒に寝食を共にし、さまざまなチャレンジを重ねながら、福島の未来や自分自身の将来を描きます。

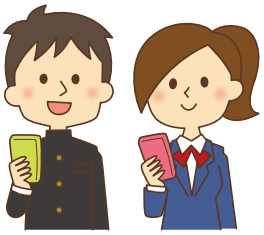
支援総額 2,450万円　支援者数 79人
※2017年3月時点。

主催
◎独立行政法人国立青少年教育振興機構
連携団体
◎一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
◎NPO法人じぶん未来クラブ

2016年募集分	支援総額 950万円 支援者数 30人

話す・つながるをサポート

18歳まで携帯料金サポート



震災で保護者を亡くした子どもたちが、身近な人々と話し、つながるためのコミュニケーションツールとして、携帯電話の料金をサポートしています。子どもたちが18歳になるまでの間、電話会社に関わらず、携帯電話やスマートフォンの料金を月々1万円までお支払いし、子どもたちを含むご家族の経済的な負担を軽減します。

支援総額 1,429万円　支援者数 50人
※2017年5月時点。

協力団体◎あしなが育英会
◎公益財団法人全国里親会

その他の支援活動

将来、東北の復興を担う人材の育成など、他にもさまざまな支援活動を行っています

AH野球を愛する会
福島県会津若松市において、福島県の今を発信する野球大会を支援

一般社団法人HLAB
宮城県女川町にて高校生に1週間の研修を提供する人材育成活動を支援

魂に響くギフトコンサートの会
音楽の力で福島県内の子どもたちの心のケアを行う活動を支援

特定非営利活動法人トイボックス
福島県南相馬市において、小規模保育の立ち上げを支援

西内洋行さん（トライアスロン選手）
福島県南相馬市において、子どもたちの運動機会を増やすためのプログラムを支援

特定非営利活動法人パクト
岩手県陸前高田市を取巻く環境とニーズに沿った子どもの居場所作りを支援

公益財団法人福島県体育協会
福島県の子どもたちへ、さまざまなスポーツ体験を通じた人材育成プログラムを支援

当財団に関する情報を発信しています。
ぜひご覧ください。

東日本大震災復興支援財団　検索

みんなで がんばろう 日本

http://minnade-ganbaro.jp/

https://www.facebook.com/ganbarojp

2016年度 財務報告

皆さまのご寄付・ご支援が、私たちの取り組みにつながっています。

正味財産増減計算書　2016年6月1日から2017年5月31日まで

(単位：円)

科　　目	2016年度	2015年度	増　減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	22,198	344,415	△ 322,217
受取利息	22,198	344,415	△ 322,217
受取寄付金	352,533,072	446,377,223	△ 93,844,151
受取寄付金	352,533,072	446,377,223	△ 93,844,151
雑収益	21,035,601	20,339,483	696,118
受取利息	630	8,534	△ 7,904
助成金返金益	5,272,193	7,060,231	△ 1,788,038
寄付金返金益	13,222,778	13,208,883	13,895
その他雑収益	2,540,000	61,835	2,478,165
経常収益計	373,590,871	467,061,121	△ 93,470,250
(2) 経常費用			
事業費	330,590,241	417,052,587	△ 86,462,346
給料手当	12,883,158	12,415,156	468,002
法定福利費	2,407,155	2,318,602	88,553
旅費交通費	8,116,811	6,906,804	1,210,007
賃借料	6,946,732	6,778,112	168,620
業務委託費	11,317,145	12,111,978	△ 794,833
支払手数料	3,725,873	4,175,502	△ 449,629
支払助成金・支払寄付金	282,844,703	370,094,369	△ 87,249,666
まなべる基金	95,906,744	202,493,424	△ 106,586,680
子どもサポート基金	68,510,000	75,260,000	△ 6,750,000
18歳まで携帯料金サポート	2,264,005	2,332,915	△ 68,910
ユースアクション東北	1,318,060	1,711,651	△ 393,591
福島人材育成支援（福島こども未来塾）	9,500,000	16,933,250	△ 7,433,250
みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業	49,465,000	54,250,000	△ 4,785,000
東北「夢」応援プログラム	25,189,000	5,304,000	19,885,000
その他の寄付	30,691,894	11,809,129	18,882,765
その他の事業費	2,348,664	2,252,064	96,600
管理費	49,334,761	56,307,790	△ 6,973,029
給料手当	13,410,862	15,329,052	△ 1,918,190
法定福利費	3,019,111	3,285,833	△ 266,722
業務委託費	4,323,180	4,501,906	△ 178,726
通信運搬費	2,936,669	3,730,600	△ 793,931
減価償却費	3,049,035	8,074,643	△ 5,025,608
支払報酬	4,018,680	4,310,820	△ 292,140
出向負担金	7,417,244	5,828,666	1,588,578
その他の管理費	11,159,980	11,246,270	△ 86,290
経常費用計	379,925,002	473,360,377	△ 93,435,375
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,334,131	△ 6,299,256	△ 34,875
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,334,131	△ 6,299,256	△ 34,875
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,334,131	△ 6,299,256	△ 34,875
一般正味財産期首残高	29,104,546	35,403,802	△ 6,299,256
一般正味財産期末残高	22,770,415	29,104,546	△ 6,334,131
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	126,260,126	153,928,499	△ 27,668,373
受取寄付金	126,260,126	153,928,499	△ 27,668,373
一般正味財産への振替額	△ 205,613,201	△ 288,881,302	83,268,101
一般正味財産への振替額	△ 205,613,201	△ 288,881,302	83,268,101
当期指定正味財産増減額	△ 79,353,075	△ 134,952,803	55,599,728
指定正味財産期首残高	1,591,556,145	1,726,508,948	△ 134,952,803
指定正味財産期末残高	1,512,203,070	1,591,556,145	△ 79,353,075
Ⅲ 正味財産期末残高	1,534,973,485	1,620,660,691	△ 85,687,206

※ 当財団は、有限責任監査法人トーマツの会計監査を受けております。
※ 2015年度をもって「福島こどもカプロジェクト」は終了し、2016年度より「福島こども未来塾」のみ実施しています。

団体概要

団 体 名　公益財団法人東日本大震災復興支援財団
設 立 日　2011年6月14日
人員構成　評議員6名、理事6名、監事2名、職員20名
評 議 員　寺 島 実 郎　一般財団法人 日本総合研究所 会長
小宮山　宏　株式会社 三菱総合研究所理事長
村 井　純　慶應義塾大学 環境情報学部長・教授
中村 伊知哉　慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授
藤 原 和 博　教育改革実践家
青 野 史 寛　ソフトバンクグループ株式会社 常務執行役員

代表理事　立 石 勝 義
理　　事　荒 井　優　学校法人 札幌慈恵学園 札幌新陽高等学校 校長
佐 藤 大 吾　一般財団法人ジャパンギビング 代表理事
大 橋 智 哉　税理士法人 山田&パートナーズ マネージャー
岡 本　正　銀座パートナーズ法律事務所 弁護士
所澤 新一郎
監　　事　君和田 和子　ソフトバンクグループ株式会社 常務執行役員
佐 藤 健 文　優成監査法人 代表社員
会計監査人　有限責任監査法人トーマツ

※ 2017年8月時点

ご寄付のお願い

当財団では、皆さまからのご寄付を受け付けております。いただいた寄付金は被災地の子どもたちの支援のため、大切に活用させていただきます。ご寄付の方法については、下記または当財団のホームページをご覧ください。

財団の活動全般へのご寄付

銀行振り込み

当財団が行う支援活動全般へのご寄付です。いただいた寄付金は、被災地の子どもたちを支援するための活動に 100% 役立ててまいります。

みずほ銀行　大手町営業部（112）
普通預金　3514117
公益財団法人東日本大震災復興支援財団
（コウエキザイダンホウジン　ヒガシニホンダイシンサイフッコウシエンザイダン）

携帯電話から

かざして募金

SoftBank の
スマートフォンから

その他の
携帯電話から

※ SoftBank のスマートフォンをお使いの方は、携帯電話料金と一緒に寄付金をお支払いただけます。
※ SoftBank のスマートフォン以外をお使いの方は、「かざして募金」のページ経由でクレジットカード決済となります。

特定の活動へのご寄付

「まなべる基金」銀行振り込み

本口座への寄付金は、「まなべる基金」の奨学金として 100% 役立ててまいります。

みずほ銀行　大手町営業部（112）
普通預金　3514439
公益財団法人東日本大震災復興支援財団
（コウエキザイダンホウジン　ヒガシニホンダイシンサイフッコウシエンザイダン）

「みやぎ『夢・復興』ジュニアスポーツパワーアップ事業」銀行振り込み

本口座への寄付金は、宮城県の小学生を対象に、トップアスリートの育成を通じた人材育成プログラムを実施するために 100% 役立ててまいります。

みずほ銀行　大手町営業部（112）
普通預金　3517405
公益財団法人東日本大震災復興支援財団
（コウエキザイダンホウジン　ヒガシニホンダイシンサイフッコウシエンザイダン）

その他、クレジットカードや、JapanGiving、
T ポイントによるご寄付も受け付けております。
詳細は、当財団ホームページをご覧ください。
http://minnade-ganbaro.jp/shien/donation/

寄付の税制優遇措置について

当財団へのご寄付は、税制優遇を受けられます。

※ 1 個人住民税の対象は、全国一律ではありません。詳しくはお住まいの都道府県税事務所・各市町村の徴収窓口までお問い合わせください。
※ 2 法人の申告については、その法人の資産や所得の金額によって限度額が異なります。各法人の経理部門または最寄りの税務署へお問い合わせください。

寄付者の皆さまからのメッセージ

清泉女子大学 清泉祭実行委員会

私たちは毎年「清泉祭」を開催しています。54 回目を迎えた昨年度のチャリティバザーでは「心をひとつに ～3.11 を忘れない～」というテーマをかかげ、来場者に支援を呼びかけました。あらためて被災地に目を向け 1 日も早い復興を願い、共に歩む力になればと思います。

国際石油開発帝石株式会社

私たちは、国内外の石油・天然ガスの開発を通じ豊かな社会づくりの貢献を目指しています。2016 年より、全社員が参加できる社内募金を開始しました。この取り組みを通じ多くの社員が震災を忘れず、これからも復興支援の一助となるべく継続的な支援を行っていきます。

2016 年度にご寄付をいただいた皆さま（敬称略・50 音順）

※1回の寄付金額が10万円以上で、許諾をいただいた方のみ掲載させていただいております。

アイティメディア株式会社	鎌倉大船ロータリークラブ	第 11 回湘南国際マラソン実行委員会	成田山深川不動堂
アクションマムチャイナ	第 35 回川口マラソン大会実行委員会	松風 淑子	日東工器株式会社
岩本 和広	久喜音楽文化振興会	鈴木 千恵子	株式会社ノースイ
SBアットワーク株式会社	株式会社 KTS コーポレーション	清泉女子大学　清泉祭実行委員会	パサライブ実行委員会
SBクリエイティブ株式会社	KOUZ and MOKOBO	ソフトバンク コマース & サービス株式会社	一般社団法人 PARACUP
SBヒューマンキャピタル株式会社	佼成学園女子中学高等学校	大東文化大学第一高等学校 PTA	ヒウラエマ
SBフレームワークス株式会社	国際石油開発帝石株式会社	田中好子ファンの集い 2017	有限会社マツヤマ
オッズ・パーク株式会社	三幸製菓株式会社	東武動物公園	株式会社メーアコルン
神奈川県立希望ケ丘高等学校	株式会社ジャックス	第 33 回戸田マラソン大会実行委員会	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ夢コープ

その他、ソフトバンク株式会社より、職員が利用する携帯電話端末とタブレット端末を無償貸出いただいています。

みんなで
がんばろう
日本

公益財団法人東日本大震災復興支援財団
〒 105-7313　東京都港区東新橋 1-9-1 東京汐留ビルディング 13 階
TEL:03-6889-1560　FAX:03-6889-1568
東北事務所：〒 980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1-1-20 花京院スクエア 23 階

Made in Fukushima
この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に、デザイン制作および製造を依頼し発行したものです。
2017 年 9 月発行